

第29回 JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会水球競技 諸注意

<競技方法>

1. 試合形式は下記のとおりとする。

A区分 ... 予選リーグ(4ブロック)を行い、勝ち点制とし、勝者3点、敗者0点、引き分けは両者1点とし、合計で順位を決定する。棄権は0 - 20で敗戦扱いとする。勝ち点で順位が決しない場合は下記の通り順位を決する。

2チームが同勝ち点の場合は 直接対決の結果 得失点差 総得点 抽選で順位を決定する。

3チーム以上が同勝ち点の場合は、当該チーム同士の 勝ち点 得失点差、次に対象チーム以外の最高順位チームとの 得失点差 総得点、それでも順位が決しない場合は次順位のチームに対する 得失点差 総得点、それでも順位が決しない場合は予選リーグ全体の成績における 得失点差 総得点 抽選で順位を決定する。ただし、あるチームの順位が確定し2チームが残った時点で「3チームが同勝ち点の場合」の に戻って順位を決定する。

予選ブロック上位2チームによる決勝トーナメントを行う。決勝トーナメントで同点の場合はVゴール方式の延長戦を行う。

B、C、D、E区分...全試合トーナメント戦。同点の場合はVゴール方式の延長戦を行う。

全区分とも延長戦を行う場合は2分間の休憩の後行う。

2. 競技時間は下記のとおりとする。

A区分...正味4分間を1ピリオドとし、2ピリオド行う。ピリオド間に2分間の休憩を設ける。決勝トーナメントは4分間4ピリオドで行う。

C区分...正味4分間を1ピリオドとし、2ピリオド行う。ピリオド間に2分間の休憩を設ける。準決勝以上の試合については4分間4ピリオドで行う。

B区分...正味5分間を1ピリオドとし、4ピリオド行う。ピリオド間に2分間の休憩を設ける。準決勝以上の試合については6分間4ピリオドで行う。

D区分...正味7分間を1ピリオドとし、4ピリオド行う。ピリオド間に2分間の休憩を設ける。

E区分...正味5分間を1ピリオドとし、4ピリオド行う。ピリオド間に2分間の休憩を設ける。

3. 全区分、1回のタイムアウトを認める。延長戦に入った場合は水球競技規則に則り、1回追加してタイムアウトを取ることができる。

4. 上記の他は、(財)日本水泳連盟水球競技規則及び一般規則により行う。

<グラウンドルール>

1. 帽子はそれぞれのチームで準備すること。原則として、組合せ表の左側のチームが白、右側が青の帽子をかぶるものとする。スタートサイドは白チームが本部席から見て左側とする。ただしルールに添って、チームカラーなどの帽子を着用する場合は、試合開始の30分前までに、対戦するチームが白の帽子を着用することの了承を得た上、本部席に届け出るものとし、さらに帽子と同色のセクレタリー用の旗を用意すること。

2. 招集は、各日第1試合は競技開始10分前、それ以降は前の試合最終ピリオド開始時に行う。ただし、フィールド交換後の試合は前の試合終了後、招集を行う。エントリー表通りの番号の帽子を着用の上、指定された場所へ集合すること。

ダイビングプールの試合は片面より2審制で行います。

<注意事項及び連絡事項>

1. 試合開始時刻(招集時刻)に遅れないようにしてください。

2. プールサイド及び更衣室フロアは土足禁止ですので厳守願います。プールサイドは監督、コーチのみ室内履きを認めます。選手は裸足とします。

3. 更衣室は使用できますが、ロッカーは使用できません。荷物を更衣室内に置かないでください。

4. 盗難事件が発生しています。貴重品、荷物は各チームで保管してください。万一、盗難にあっても、主催者及び水泳場では責任を負いかねますのでご注意ください。

5. ゴミは持ち帰ってください。ご協力お願いいたします。

6. プールサイドへの飲食物の持ち込みは禁止です。ただし試合中のインターバル時に水分を補給する場合のみ例外としますが、商標などの広告媒体となるラベルは取り除いて下さい。

7.ウォーミングアップは、メインプールゴール後方とダイビングプール飛び込み台側のスペースを利用してください。ゲーム中はボールを使用できません。ゲームが始まったら、速やかにボールをあげてください。ゴールの使用は次の試合に出るチームを優先します。

サブプールには立ち入らないでください。

- 8.写真やVTRの撮影には許可が必要です。身分証などを提示していただき確認の上許可証を発行いたしますので、常時携帯の上撮影行為をおこなってください。ただし、フラッシュ撮影は競技進行の妨げになりますのでおやめください。なお、本来の目的と違う形での映像使用は処罰の対象となります。この趣旨をご理解いただき、不審な撮影者等を発見した場合は大会運営側に通報していただけますようご協力お願い致します。また、一般のかたの場内の電源コンセント使用はできません。チーム使用のVTRバッテリーの充電などは出来ませんのでご注意ください。
- 9.ケガ・病気等の場合、会場内の救護室で応急の処置は致しますが、最終的な診断はできかねますので、救急車の要請ということになります。事後の措置については当該チームで対処して下さい。
- 10.1階出入り口は一般公開の方専用です。大会関係者は2階入り口を使用してください。1階ロビーも立入禁止です。

サブプールは一般利用客専用です。水球関係者は使用しないでください。

- 11.ギャラリーにある水泳場の備品や設備（床置型ファンコイル、非常口扉の鍵カバー、時計、ゲート案内板、排煙口ハンドル等）に手を触れないでください。特に床置型ファンコイルの通風口が割れやすいので、荷物等は置かないでください。
- 12.駐車場の収容台数が少ないため、公共交通機関をご利用ください。マイクロバス等は駐車場所がありません。回送して頂くこととなります。なお、周辺路上は駐車禁止です。絶対に路上駐車をしないでください。

<26日のアップ・監督者会議について>

- ・時間 11:00～18:00
- ・入場方法 2階入り口より入場し、西側スタンドC階段（これ以降土足厳禁）を降りプールへ入場してください。サブプールへは立入禁止です。
- ・監督者会議 12:00～13:00 千葉県国際総合水泳場1階会議室

欠席の際は下記連絡先までご連絡ください。

A区分はダイビングプールにて14:00からゲームを行います。この間はアップはできません。メインプールは使用できます。

審判・指導者合同研修会について

標記研修会を下記の日程で開催いたします。詳細は別途掲載の要項をご参照ください。みなさまのご参加お待ちしております。

場所 千葉県国際総合水泳場1階会議室

日時 3月26日(月) 18:00～

<帯同審判・帯同競技役員について>

1. 帯同審判員の方は審判のできる服装をご準備ください。
2. 3月26日の監督者会議の際に帯同審判、競技役員の確認を行います。ご出席ください。出席できない場合は下記連絡先までご連絡ください。
3. 帯同審判員、競技役員を出せない場合は競技運営費1万円を申し受けます。事前に帯同審判または競技役員を登録されていても、当日ご参加いただけない場合も競技運営費を申し受けます。
4. 帯同審判員または帯同競技役員を登録されていないチームで、まだ競技運営費を支払っていないチームは、大会当日お支払いをお願いします。

以上、ご健闘をお祈りいたします。

*問い合わせは下記まで

競技運営担当者： 荻野 浩明

携帯電話 090-6477-1969

E-mail:hiro_jwpc_86@ybb.ne.jp(半角英数)